



J A C 北九だより NO 4

社団法人 日本山岳会 北九州支部
Kitakyushu Branch of The Japanese Alpine Club

発行所：社団法人日本山岳会
北九州支部 事務局（日向）
小倉北区熊谷 4-14-17
TEL・FAX 093-592-0275

発行者：吉村 健児
編集人：蔵富幸夫・溝部忠増

支部役員を増員、執行部態勢を強化 第2回通常総会を開く

広報 11977 溝部 忠増

JAC北九州支部の第2回通常総会は、4月21日、福岡県英彦山で開かれた。会員190人のうち、委任状を含め126人が参加、吉村支部長のあいさつのあと、議事に入った。

まず、吉村支部長は岳人の目標として、①健康増進を図り、ケガをしない ②自然保護に努める ③山の仲間の輪を広げ、たのしい山行をつづける。の3点を強調、昨年秋誕生したばかりのひよこの支部だが、着実な支部運営で、成果を徐々にあげてゆきたい。支部会員もなるべく早く本部会員に推薦したい、と述べた。

議事では ①平成12年度の活動内容について、総会、JAC会合、機関誌、山行など事業報告の承認 ②平成12年度決算として

収入573,000円、支出273,916円で、差引299,084円のくりこし承認 ③平成13年度事業計画として、四季を通じての定例山行、山を語る研究会、全国支部長懇談会出席など、各種プランの承認 ④平成13年度収支予算816,584円の承認など、満場一致で決定された。

また、支部役員に新しく江頭精一、大庭常生、兼光功、大楠益弘、板倉健一の五氏を選び、支部の執行態勢の強化を図った。

つづいて研修会に移り、白石宣大会員が、登山と健康、安全に歩くための用具と使い方などについて、「たのしく、楽に歩く中高年登山」の基本について、わかりやすいお話を展開、会員は改めて登山をめぐる知識を学んだ。夜は懇談会に移り、こもごも山の体験を語り合い、会員の親交を深めた。



第2回通常総会

第1号議案 平成12年度 事業報告

(1) 総会開催

9月3日 新支部設立総会 出席者114名
会場：アドベンチャーセンター森の家

(2) 役員会

9月12日 新支部設立総会、設立記念山行、講演会、懇親会の総括。

10月12日 「JAC北九だより」の発行サロン開設等について。

11月9日 山行委員会、山行について。

12月14日 JAC年次晩餐会報告、支部運営について。

1月18日 支部長会議報告、新年岳人の集いについて。

2月8日 平成13年度支部行事の検討、山岳保険について。

3月8日 支部事務局担当者会議報告、総会について。

(3) 諸行事

9月2日 支部創立記念登山会

英彦山 (1,200m) 72人

- 9月2日 支部創立記念講演会「チョモランマ登頂」山下健夫氏 117人
- 9月2日 支部創立記念懇親会 国民宿舎「ひこさん」 98人
- 9月16~17日 第17回全国支部懇談会に吉村支部長ほか7人参加
- 10月 「J A C 北九だより」N01の発行
- 10月22日 下関山岳会創立70周年記念式典に吉村支部長ほか多数参加
- 11月2~3日 宮崎ウエストン祭に日向事務局局長ほか数人参加
- 12月2日 J A C 年次晩餐会に吉村支部長ほか数人参加
- 1月 「J A C 北九だより」N02の発行
- 2月 「J A C 北九だより」N03の発行
- 2月24~25日 支部事務局担当者会議に日向事務局長出席
- 3月11日 第16回諸塚山山開きに、溝部委員ほか多数参加
- サロンルーム開設 11月14日より毎週第2火曜日 午後6時よりJ R 小倉駅北口 和風レストラン「阿沙野」にて
- 福智山集会呼掛け 11月17日より毎月第3土、日曜日に福智山の山頂又は、山小屋で集まりましょう。

第2号議案 平成12年度 決算報告

収支決算書

○平成12年度(平12年6月18日~平13年3月31日)

1. 収入の部

項目	予算額	決算額	差異
支部会費	220,000	304,000	+84,000
支部入会金	60,000	138,000	+78,000
寄付金その他	20,000	131,000	+111,000
合計	300,000	573,000	+273,000

2. 支出の部

項目	予算額	決算額	差異
会議費	50,000	83,549	+33,549
役員会費	18,000	40,550	+22,550

項目	予算額	決算額	差異
印刷通信費	170,000	146,205	-23,795
交際費	10,000	3,612	-6,388
旅費	30,000	0	-30,000
雑費	10,000	0	-10,000
予備費	12,000	0	-12,000
合計	300,000	273,916	-26,084

次年度繰越金

(収入) (支出) (次年度繰越金)
573,000円-273,916円=299,084円

第3号議案 平成12年度 監査報告

監査報告書

社団法人日本山岳会北九州支部の平成12年度の収支計算書を監査し、正確妥当なことを認める。

会計監査について、帳簿ならびに関係書類の閲覧等、必要と思われる手続きを用いて、計算書類の正確性を確認した。

業務監査については、役員会等に出席し、業務執行の妥当性を確認した。

事業報告の内容は、真実であると認める。

役員職務執行に関する不正の行為または法令、規約に違反する重大な事実はないと認める。

平成13年4月1日

社団法人日本山岳会北九州支部

監事 三上 忠人

第4号議案 平成13年度 事業計画

事業計画書

1. 基本方針

本支部は日本山岳会の歴史と伝統、その精神を受継ぎ、さらなる発展と向上を図り、本地域山岳界の健全な発展と指導性を確立するため、積極的で、幅広い活動を行なう。併せて会員相互の協力と親睦を図ります。

2. 事業計画

(1) 総会開催

平成14年4月20日(土)
第3回通常総会を開催します。

(2) 役員会

平成14年4月より
毎月1回(第2木曜日)開催します。

(3) 諸行事

- サロンルーム 毎月第2火曜日開催
- 福智山で会いましょう。
毎月第3土、日曜日開催
- その他、「別紙年間行事予定表」を添付。

第5号議案 平成13年度収支予算

収支予算書

○平成13年度(平成13年4月1日～平成14年3月31日)

1. 収入の部

項目	概予算額	予算額	差異
前年度繰越金	299,084	0	+299,084
支部助成金	137,500	125,000	+12,500
支部会費	300,000	240,000	+60,000
支部入会金	10,000	10,000	0
寄付金その他	70,000	10,000	+60,000
合計	816,584	385,000	+431,584

2. 支出の部

項目	概予算額	予算額	差異
会議費	150,000	100,000	+50,000
役員会費	48,000	24,000	+24,000
印刷通信費	200,000	170,000	-30,000
交際費	30,000	30,000	0
旅費	40,000	40,000	0
雑費	20,000	10,000	+10,000
予備費	328,584	11,000	+317,584
合計	816,584	385,000	+431,584

※ 平成13年度予算は支部設立時に規約により作成し、設立総会で承認を得ていましたが、皆様のご協力で会員もふえましたので、修正しました。

第6号議案 その他

補充役員名簿

役職	氏名	会員番号	地域
委員	江頭精一	10448	北九州市
	大庭常生	11395	"
	兼光 功	13467	"
	大楠益弘	13465	"
	板倉健一	13471	"

以上、異議も無く満場一致で承認された。

◇ — ◇ — ◇ — ◇ — ◇ — ◇ — ◇

♥♥ 身体障害者とともに山へ ♥♥

13465 大楠 益弘

一言で障害がある方と言っても、どの部位がそうなのか、を具体的に想定した上での活動が大切です。眼、耳、口、肢体等、不具合の状態に合わせた方針を打ち出すことから始めたいと思います。支部会員の障害のある方と協議をし、具体的な山行計画を練ることになります。いずれは窓口を拡げ「北九州市障害福祉ボランティア協会」とも連絡を取り、各種グループとの連携も必要と考えています。しかし、健常者でも山行きは簡単ではないのに、障害のある方に参加していただくわけですから、介護者の付き添いはもちろん、対象の方に対し3～4倍の案内者の協力が得られることが、前提となります。山行きに憧れている方がたに、喜んでいただけるのは、山岳会員としても、嬉しいことで、やり甲斐のある活動に違いありません。

まずは、7月21日(土)に実施する皿倉山行(薬草、薬用樹木園を訪ねて皿倉山へ)から、具体的な活動に入って行きたいと考えています。みなさんご協力をお願いします。

2001年4月～2002年3月 年間

担当役員名	月	4月	5月	6月	7月	8月
総務 定例役員会 (大谷会館) 支部長 吉村 健児 副支部長 秦野 一彦 事務局 日向 祥剛 江頭 精一 板倉 健一 大楠 常夫 監査 重村 伝平 三上 忠人		12日(木)	10日(木)	14日(木)	12日(木)	9日(木)
		通常総会 と研修会	春季山行 新入会員歓迎・登山会	山を語る 研究会	夏季山行 新入会員歓迎・登山会	夏季山行 北アルプス
		4/21(土) 15:00 通常総会 と研修会	5/12(土)～13(日) 新入会員歓迎・登山会	5/27(日) 山を語る 研究会	7/21(土) 新入会員歓迎・登山会	8/17(土)～19(日) 夏季山行 北アルプス
山行及び行事 溝部 忠増 西岡 謙 井上 佑 会計 山本 守 兼光 功		福岡 『英彦山』	宮崎 『韓国岳』	小倉 国際会議場 (山小屋のご主人達)	福岡 『皿倉山』 見学勉強会 皿倉山の薬草・薬樹園	長野 『上高地・穂高』 (募集20人)
		安全登山の 基礎知識 講師 白石 宣夫		北アルプスの魅力を語る集い	懇親会 河内温泉 あじさいの湯	
広報 蔵富 幸夫 溝部 忠増 大庭 常生				連絡紙発行 5月末予定		

大満足の韓国岳 報告

北九 226 山崎 和子
 最高の五月晴れの中、深緑につつまれた下界から、新緑とピンクのミヤマキリシマやミツバツツジの咲き誇る韓国岳へ登りました。前夜は民宿「登山口温泉」で、地元の素材を中心とした豪華な夕食と温泉に酔い、早朝の霧島神宮への参拝もしました。
 韓国岳山頂には10時前に着き、参加者の

誰も火口巡りをしていなかったもので、行ってみました。けもの道を選びながらルートを決め約1時間30分で山頂に戻りました。黄色のツツジやリンドウ、スマレのお花畑も、鹿や猪の糞もたくさんありました。北西の大崩壊後の岩場は少しスリルもあり、ヤブ漕ぎもして、整備された登山道にはない、山の楽しさを味わいました。
 帰途は鹿の出迎えを受け、市営露天風呂にもゆっくり入り大満足でした。
 お世話いただいた、溝部さんらに感謝、感謝。次回もぜひ参加したいと思います。

行事予定

(社) 日本山岳会・北九州支部

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
13日(木)	11日(木)	8日(木)	13日(木)	10日(木)	14日(木)	14日(木)
全国支部 懇談会	秋季山行	秋季山行	JAC全国 年次晩餐会 登山会	冬季山行 新入会員歓 迎・登山会	定期総会準備 案内状 行事報告・決算報告 行事計画・予算書	
9月中旬	未定	11/2(金)・3(土)	12/1(土)	1/13(日)	2/9(土)・10(日)	3/2(土)・3(日)
第18回全国 支部懇談会	秋季山行	秋季山行	JAC 年次晩餐会 (東京)	冬季山行	冬季山行	冬季山行
石川支部 加賀温泉	未定	Aコース 宮崎 『祖母山』 ウエスト祭	12/2(土) 岳人の集い (卓話と 忘年会) 大谷会館	福岡 『古処山』 Aコース 一般向け	山口 Aコース 『十種峯』	Aコース 熊本 『甲佐山』
白山北稜線 『三方岩岳』		Bコース 鳥取 『大山』	12/31(月) 越年山行 『福智山』	Bコース 健脚向け	Bコース 『青野山』	Bコース 宮崎 『諸塚山』 山開き
連絡紙発行						

「北アルプスの魅力を語る集い」の報告

委員 11395 大庭 常生
小倉・国際会議場で、5月27日催した集いは、参加者492人、北九州市以外からも、100人を超えました。若い20代の参加者が多かったことと、質問などからも、本来の目的で参加者がそろい、盛会でした。

富山「立山博物館」からの、日本初の山岳映画「雪の薬師、槍越え」には感動し、冒険や探険の原点の一つを見た思いでした。

「槍ヶ岳山荘」の穂苅さん、「白馬山荘」の松沢さん、会員の白石さん、他の方々により、北アルプスの魅力の真髄、その楽しみ方を学びました。

親睦交流会も盛況で、吉村支部長の乾杯の音頭で始まり、なごやかで、実り多い、有意義な催しとなりました。

長野県に行くときは、山の情報の宝庫、親切な案内、ぜひ連絡をとって下さい。

必ずやお役に立てることと思います。

長野県九州観光案内所 093-551-2375
小倉北区紺屋町13-1 毎日西部会館内

企画を立て、実行を

事務局 10448 江頭 精一
初めまして、今回新役員になりました江頭と申します。

日本山岳会に入会したきっかけは、職場山岳会で、「ヒマラヤ遠征」が計画されており、私も遠征隊のメンバーに選ばれました。その当時は、遠征隊の許可を取るのにかなり苦労しており、遠征隊のメンバーも、それなりのステータスが必要であるという状態でした。国内での登攀経験は、冬季を含めてかなりありましたので、当時のK2で有名な新開さんが、それではと云う事で、日本山岳会に推薦して下さいました。おかげで遠征隊の許可はスムーズに取る事が出来ました。ヒマラヤ遠征は登頂こそ出来ませんでした。素晴らしいものでした。

それから、いく年月が流れ、職場の山岳会も若い人が入会せず、とうとう活動が停滞してしまい、私もしだいに山登りから遠ざかってしまいました。しかし、日本山岳会の一員であると云う事は名誉な事と思い、忘れずに会費だけは払っていました。最近になって、また山に登り始めたいとの気持ちが、心の底から湧いてきました。もう職場の山岳会も無いし、また新しい山岳会を探して入るのもおっくうだなあと考えていたところに、日本山岳会北九州支部設立の話が持ち上がり、参加しないかという手紙が届きました。

今までは、福岡支部の催しも、知らない人ばかりなので、参加していませんでした。しかし、今度は自分達で支部を創設するのであれば、顔見知りも増え、一緒に山に登れるのかなと思いました。

私は新役員になって、支部の活動をしていく上で、会員相互のコミュニケーションがどの様に出来るか、が一番大事だと考えています。会員の色々なニーズを把握して、色々な企画を立てる。企画を実行し、会員の反響を素直に聞いていく事だと思っています。多少、失敗や

牛斬の尾根に光る銀色の草

事務局 13471 板倉 健一
山登りをはじめて30年以上になります。当時のトレーニングは、ポッカとランニングで、社会人山岳会では、日々のトレーニングは、各自に任せていました。残業が終ってからの夜のランニングと階段登りは、楽しくはないけれども充実していました。休日には門司の戸ノ上山の滝の観音で、キスリングに石を詰めて足立山を往復したり、採銅所から牛斬山、福智山をよくポッカしました。当時は周りの景色を観る余裕もなく、時間との競争でした。

30才台で山と疎遠になりましたが、体力維持のためランニングは続けています。最初の頃は自己ベストの更新に熱中しましたが、40才台になると走ることを楽しめる様になりました。フルマラソンを走るときも大会の雰囲気や周りの景色、応援してくれる人達やポアランティアの方々の笑顔に、感謝しています。

ヒマラヤ登山から帰って、牛斬山から福智山をゆっくり一人で歩きました。今まで見えなかったおらかな自然に感謝しました。

どの山にもそれぞれの雰囲気と素晴らしい自然があります。

ぎん

牛斬の尾根に光る銀色の草

—◇—◇—◇—◇—◇—◇—◇—◇—
要領が悪くても、趣味の世界ですから、ご勘弁をお願いします。何もしないよりも、何かやって見る姿勢の方が、遥かに素晴らしいことだと信じています。

数年後はさすが、日本山岳会の取り組みです。ねというものが一つでも出来ればと思います。また、ご意見、要望があれば下記のアドレスにメールを下さい。

egasan@lime.ocn.ne.jp

とにかく、頑張って活動しようと思っていますので、どうか宜しくお願いします。

遍路歩きで悟りは？

会計 13467 兼光 功
若い時は海の方が好きでした。

泳ぎは不得手ながら、水中でのフワフワした不安定な感じが良くて、高校の頃は波津や藍島。車に乗るようになって、壱岐や五島、甕島などで、毎年キャンプしました。

年齢とともに、海辺のあのギラギラした明るさに身体がついて行かなくなり、キャンプは久住や阿蘇などに移ります。

ラジカセをガンガン鳴らす若者達の隣に、テントを設営するのも辛くなったりで、ついに中止。30代も半ばになっていました。

「ビールを美味しく」が目的で続けた行事です。代わりを見つけなくてはなりません。

唐突に（お四国遍路）が浮上、たいした知識も持たないまま、1976年8月14日、徳島の一番札所霊山寺に立ちました。信仰心も無し。八十八ヶ所全てを回る意志も無し。とにかく2日間だけ歩いてみよう。

通りかかった軽四氏に道を尋ね、1時間後判り難いと指摘された地点に、なんとか我々が到着すると、解けかかったアイスクリームを持って、心配そうに待っている。

横に座る孫達の小遣いにでも、と持っていたのであろう、1円玉も混じるコインを「年寄りには少ししか持っていないくて」と言いながら巾着を逆さにして、食事の足しにと渡してくれた山間の農家のお婆ちゃん。

本日休業としているのに、お遍路さんだからと泊めてくれる、初盆飾りがしてある宿。

e t c, e t c. 四国の方々の遍路に対する（お接待）という心。

これは途中で投出せないと、以後、毎年5月の連休に出掛けて、12年で決願。なにか納得出来なくて、再び11年歩いて2周目を参り終えました。

「何か悟ったの？」と問われても、相変らずの私の強い煩惱だらけの飲み助けですが。



初心者のガイド役を

事務局 13465 大桶 益弘

人に語れる登高記録を一切持たないノンキャリアーの私にとって、日本山岳会は雲のそのまた上、いわば象牙の塔的存在であった。

昨年9月支部会員募集の新聞に接し、恐るおそる申込書を提出した。まず書類審査で駄目なのではないかと、ひやひやしていた。どうか支部会員にして貰い、憧れの本部会員の方がたとも話が出来、お付き合いもして頂けることになった訳で、天にも昇る気持ちであった。私みたいな低レベルの者にまで手を差し伸べて頂き感謝、感謝の心境であった。

私自身は、学校卒業後、23才から山を始めた。晩生である。以来丁度40年、山での経験を重ねてきた。近年中高年の登山がブームでは無く、定着して来ているのはご承知の通りである。だが遭難も多く、その三大原因が、転倒、滑落、道迷いと知って、唾然とした。足許の不確保、バランス感覚欠如、地図の不所持、コンパス不使用、これらは全く基本動作が身につけていないことによる。

花の時期には、その地帯を平気で踏みこむ、立入り禁止区域に堂々と侵入、あげくの果ては、花の園の中で弁当を揚げ、わいわいやるという場に出会わすことも度々。怒りどころか悲しくなってくる。

これまで私としては、道に迷った人には、出来るだけ分かりやすく、コース案内を、迷いそうな人には、予め誘導を、又花いじめの人には、つい言葉をかけて来たが、個人レベルでは限界があり、また余計なことをしているとも取られかねない。

私としては、こういうボランティア的活動を組織として、取組めたら山の自然、ハイカーの安全のため、どんなにか役立つだろうと常づね考えていただけに、良い機会を与えて頂いたことに、心から感謝している。無論支部活動は、これが全てでは無いことは、理解している。私個人としてはこういう方面で、お役に立てたら、と念願している次第である。

皆様方のご指導をよろしくお願いします。

積雪2 春の奥穂へ

北九 284 太田 満

春の連休の晴天をねらって、単独で穂高岳へ向かった。

早朝の上高地は霧雨で霞んでいた。

徳沢園を素通り、横尾でゆっくり休んで腹ごしらえをした。横尾谷になると雪道となった。屏風岩を過ぎ、本谷橋あたりになるが、橋は雪に埋まって全然見えない。もう2m以上の積雪がありそうで、雪崩のデブリが、谷の両側から押し寄せている。ときどき雪崩の音がドーンとして、白煙が上がっている。

何度か休みながら登ると、谷が開けて涸沢に着いた。50張り程のテントがあった。自分のテントは、夜中にうるさくないように、単独行の小さいテントが多い中に張った。

夕方、晴天になり気温がどんどん下がり、雪がバリバリに凍った。夜行列車の疲れがあり、18時には寝袋にもぐり込んだ。

5月1日午前6時、アイゼンを着け、アタックザックで奥穂高岳を目指す。雲一つ無い快晴だから、正午頃には雪が腐って、足元が悪くなりそうだ、その前に登頂を終え、穂高山荘まで下山してきたい。雪崩のデブリをすぐ横に見ながら、どんどん高度を稼いだ。

山荘前で腹ごしらえをした。涸沢岳へ登る人は多いが、奥穂高岳へ登る人は少ない。

アタック開始。2カ所の梯子を過ぎ、足跡を丹念にたどって登る。喘ぎ喘ぎ登った。

山頂は風もなく、周囲の山々を眺めて感動した。写真を撮りまくり、15分いて下山開始、2カ所ある雪田の下降は、ピッケルを頼りに、アイゼンを効かせ、慎重に下った。この雪田で滑落したら、お陀仏だろうと思った。

穂高山荘まで下りて「ホッ」とした。

10時前なのに、気温はどんどん上昇し、雪は腐り始めた。涸沢のテントまですべり落ちる様に下った。

皿倉山へお誘い

薬草・薬用樹木園を訪ねる

副支部長 4325 秦野 一彦

皿倉山は薬草の種類が多く、自然の薬草園です。(JAC北九だより、第2号参照)

今回は山好きの身障者の方々と交えて、路傍の薬草を観察し、一つでも多く知って頂き、山登りの楽しみを加えてはいかがでしょう。

次のプランで、薬草観察会を開催しますので振るってご参加ください。

日時 7月21日(土曜日) 小雨決行
8:30(集合・出発)

帆柱ケーブル山麓駅前駐車場

コース 8:30 ケーブル山麓駅から歩き、薬草を観察しながら山頂へ、
12:00 頂上南側斜面の薬用樹木園で昼食。薬用植物の観察会
14:30 薬用樹木園で解散。
下山開始。(希望者は河内温泉へ)

参加費 無料、昼食は各自で持参。

懇親会 16:30より“水と緑の里”
河内温泉「あじさいの湯」

電話 093-653-4126

参加費 3,000円(30人限り)

送迎 大蔵、JR八幡駅までバスを運行

問合せ 三上忠人 093-881-9895

江頭精一 093-963-8940

大楠益弘 090-3196-8939

申込先 ☎803-0864

北九州市 小倉北区 熊谷4-14-17

JAC事務局 日向祥剛

申込締切 7月15日までに必着

「はがき」で氏名、年令、住所
電話を記入のこと。